

県・市の方針と重点

【県の方針】
 ◇一人一人に「生きる力」を育む指導をする。
 ◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。

【市の方針】
 ◇生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成 「知識と知恵」→「生きぬく力」
 <めざす姿>
 ・**よりよいひとりだち**

学校課題

- ・確かな学力を身に付ける。
- ・自己を律する心や他者を思いやる心を育む。
- ・身のまわりの不合理をそのままにせず、解決する力を付ける。
- ・自らよりよい生活をつくり出す力を付ける。
- ・保護者・地域と一緒に、地域ぐるみの教育を推進する。

児童の実態

- ・豊かな自然環境の中で、明るくのびのびと生活している。
- ・好奇心旺盛で何事にも興味をもつ子が多い。
- ・多様な考えで自主的に課題解決に取り組む力がやや弱い。
- ・まじめに学習に取り組むが、表現する力に課題がある。

保護者や地域の願い

- ・毎日、明るく元気に登校してほしい。
- ・確かな学力を身に付けてほしい。
- ・思いやりの心や我慢する心を育てほしい。

学校の教育目標

人間性豊かで **たくましく生きぬく** **子どもの育成**

つよい子 **やさしい子** **考える子**

指導の重点（教育目標の具現を見届ける視点）12項目

① 安全に気をつけて登下校する	⑤ 進んで挨拶する	⑨ 静かに「朝読書」をする
② 元気よく外で遊ぶ	⑥ 優しい言葉遣いをする	⑩ 「落合っ子タイム」に集中する
③ 給食後に歯を磨く	⑦ 誰とでも仲良くする	⑪ 授業に集中し、自分の考えを発表する
④ 黙って心を込めて掃除する	⑧ 楽しく縦割り遊びをする	⑫ 家庭学習で学力向上を図る

経営の基本方針

「心が通い合い、安心して生活できる学校」

<p>【健康教育】健康で安全な生活の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外遊びの奨励 (運動の日常化、体力の向上) ○規則正しい生活習慣 (早寝、早起き、朝ごはん) ○衛生的な生活習慣 (うがい、手洗い、歯磨き) ○怪我・事故等の未然防止 (危険予知能力、安全な登下校・学校生活) 	<p>【道徳教育】豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別な教科 道徳の時間の充実 (重点項目：親切、友情、生命尊重、規則尊重) ○児童の価値ある姿の把握 (とらえ、認め励まし、広める) ○地域ぐるみの道徳教育の推進 (挨拶、言葉遣い) ○約束やルール・相応しいマナーの習得 (機会指導・個別指導) 	<p>【教科指導】学力75を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ喜びやわかる喜びが味わえる授業 (指導方法の工夫、TT指導) ○自ら学ぶ力の育成 (学び方のルールの定着、学業指導) ○「落合っ子タイム」で基礎・基本の定着 (漢字・計算の習熟、資料読み取り 集中と継続) ○学習習慣の確立 (学力アッププログラム・朝読書)
<p>【生徒指導】自己指導能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもに寄り添った指導の充実 (個別支援会議 ケース会議 校内研修の充実) ○日常的な教育相談体制の確立 (二者懇談 心の健康観察 いじめ調査) ○共通理解・共通行動 (毎週実施する生徒指導交流会) ○地域ぐるみの生徒指導の推進 (青少年健全育成推進会議 町づくり推進会議) 	<p>【特別活動】自主的、実践的な態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな学級・学校生活の創造 (学年・学級目標具現への取り組みの強化) ○成就感・達成感のある学校行事の組織化 (一枚岩となった学校行事等の取組) ○児童会活動の充実 (児童会組織の再編と活動の見直し) ○異年齢集団活動の組織化と評価 (集会 縦割り掃除・遊び 通学班 地域子ども会) 	<p>【人権教育】固定化した人間関係の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○差別・不合理を存続させる要因を踏まえた指導 (偏見・誤解、世間体、間違った優越感、自己中心的な考え方) ○人権問題の解決 (ひびあい週間：年間2回実施 人権標語) ○研修の充実 (人権研修 伝達研修 人権意識調査)
<p>【キャリア教育】主体的に進路選択できる指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己の進路や生き方の選択 (道徳授業の充実 学級活動の充実) ○自己の将来の設計 (生き方指導 心のプロジェクト) ○よりよい選択・決定 (責任ある係活動・委員会活動の展開) ○地域社会との連携 (生き方講話 中学校との連携) 	<p>【特別支援教育】生きる力をより高める指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談支援及び校内研修 (継続的な相談と支援 事例検討会) ○個に応じた指導及び支援 (個別の指導計画 個別の支援計画) ○計画的・継続的な教育支援 (複数年にわたる指導 指導内容の見直し) ○交流及び共同学習 (確かな情報交流 積極的な実施) 	<p>【総合】体験的な学びを通し生きる力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと理解に向かう活動の組織化 ・3年生：「落合の昔を調べよう」 ・4年生：「落合の自然と人々の暮らし」 ・5年生：「高齢者福祉について考えよう」 ・6年生：「伝えよう、風流おどり」 <p>【外国語活動・外国語科】 ○外国語に慣れ親しみ、充実した言語活動の実現</p>

【2ヶ月を1つの節とする学習目標・生活目標：P→D→C→A】

- ◇4・5月 チャイムと同時に授業を始めよう ・ あいさつをしよう
- ◇6・7月 姿勢を整えよう ・ 黙って掃除をしよう
- ◇9・10月 みんなで話し合おう ・ 時間を守ろう
- ◇11・12月 たくさん本を読もう ・ ここに言葉を使おう
- ◇1・2月 正しく書こう ・ かぜに負けない体を作ろう
- ◇3月 「できる」ことを増やそう ・ 教室をきれいにし進級しよう

教師の指導力の向上

- 社会科・生活科をとおした主題研究**
 - ・研究主題、研究構想、研究計画等の見直しと実践の積み重ね
 - ・学び方や学習規律の定着と学び合う場(練り合い)の工夫
 - ・全員研究授業を実施
- 教育公務員としての資質を高める一般研修**
 - ・自己啓発面談、校内資質向上委員会
 - ・校内における日常的な研修
 - ・意図性を持って研修会に参加

開かれた学校・学級

- 積極的な情報発信**
 - ・学校だよりの全戸回覧、学年だよりの発行
- 願う子どもの姿の共有**
 - ・個別懇談、学級懇談会、地区懇談会
- 地域の教育力、地域教材の積極的な活用**
 - ・教科(社会科・生活科)、総合的な学習の時間
- 児童、保護者、学校が一体となった学校評価**
 - ・結果と改善策を公表

〈目指す教師像〉

- 温かさのある教師**
・子どものわずかな成長を見逃さず共に大切にできる教師
- 指導力を高める教師**
・常に自己啓発し自ら指導力の向上に努める教師
- 良識ある教師**
・教育公務員としての自覚のある教師

全ての教育活動が、「子どものため」に集約される指導・援助